

1 本題に関して

A, B の最大公約数の約数すべての集合は A, B の公約数の集合に一致するから、このうち K 番目に大きいものが求める値である。

2 計算手法に関して

掛けて n となるような 2 つの自然数 i, I はいずれか一方が 1 以上 \sqrt{n} 以下の範囲に存在する。